



## よねやま雑感

元RI理事  
(財)ロータリー米山記念奨学会理事長

**板橋 敏雄** (足利東RC)

### 「ホームカミング制度の成功」

私が、本奨学会の理事長を拝命して、2年間で過ぎ様としております。その間には、台湾における学友会「中華民國扶輪米山会」が、台湾で台北の東海ロータリークラブに次いで第2番目の学友会中心の「台中文心ロータリークラブ」を発足させた事や、長い間の念願であった中国に於ける米山学友会が、去る3月28日に北京に於いて盛大に発会式を開催した事など、嬉しいビッグイベントが数多くありました。

また、中国米山学友会の初代会長に就任した北京の法律事務所代表である姫軍（ジ・ジュン）さんからは、その後の朗報がメールで届きました。去る4月30日に、中国を訪問していた麻生内閣総理大臣は、日中次世代ビジネスリーダーとの懇談会をニュー大谷ホテル（北京）で持ちました。その席にて彼は、駐中国日本大使の宮本氏の紹介で麻生総理と同じテーブルになり、中国米山学友会の役割を直接総理に説明出来たそうです。勿論流暢な日本語です。何と素晴らしい出来事ではありませんか。私達の米山記念奨学会への思いが、エコーの様に、北京に於いてわが国の首相に届けられたのです。

そして、私の初年度理事長提案として提出した「ホームカミング制度」が常務理事会にて承認され、今年度34地区中14地区に於いて実現できました。各地区に於いて、世話クラブの中で、ご相談いただき適材をお迎え出来たと思っています。各地区へ、予算の総枠として25万円を用意致しました。往復の旅費、そして一週間の滞在費等の費用としてです。各地区とも確りとした清算書を提出して頂いて居りますが、中には、往復の旅費はいらないと云われる学友も居たそうであります。地区米山

委員から御相談を戴きました。私は、ご面倒でもその旅費相当分は、学友ご本人の米山への寄付金として申請して頂いたら如何でしょうかと申し上げました。これもまた心の琴線に触れるお話です。そう言えば、学友からのご寄付は総額、3月末で1200万円を越えました。

我が地区のホームカミング学友は、2004-05年度世話クラブ西那須野RCの白麗芬（はくれいぶん）さんでした。彼女は地区大会の午後、15分間に亘り、帰国後大連市に於いて、外国人向け中国語学校、大連瑞文語学学校の校長を務め、主に現地に進出した日本企業やその駐在員へビジネス中国語や中国文化を教えており、日中の経済面に貢献することで、受けたご恩を少しでもお返し出来ればと言う思いを述べられ、涙ながらに話を終わりました。出席していたロータリアン一同に大きな感動を与えました。

他の13名の学友も、夫々の地区大会に於いてアジアと日本の友好に大きな役割を果たしたに相違ありません。来年度は、この制度を更に拡大して、日本に於いて活躍している学友にも呼びかけて行く予定です。

その感動が更に寄付金意欲を高揚させ、米山記念奨学会事業の発展に繋がって行く事を只管願って居ります。お蔭様で、(財)助成財団センターの発表によりますと、(財)ロータリー米山記念奨学会は「助成等事業費上位100財団」で第5位、民間の奨学団体としては今年も第一位になっています。年度末6月を目掛けて有終の美を飾りましょう。